

現代幼稚園教育の發達

G H Q ヘレン・ヘフアーナン女史

左の一篇は、ヘフアーナン女史が玉成高等保育學校研究會において講演せられた手稿である。快諾を得て譯載する。ドクトル・ヘフアーナンは兒童心理學及び教育學の深い學識とカリフォルニア州における教育局長としての教育實際上の優れた識見とを以て、總司令部の日本教育指導に參加してゐる。現に、文部省の保育指針編纂委員會にも常に列席して、有力なる指導的地位につかれ、その理解と熱心と、殊にその溫和懇切な態度とは、全委員の親しみと尊敬とを受けてゐられる。わが國の幼稚園進展のために負うところ、極めて多いことを信じて疑わない。こゝに此の稿を本誌に掲載し得ることを感謝し、併せて、譯文の責任が一切本誌記者にあることを明記しておく。(記者)

二十世紀は、兒童の成長と發達における幼時の重要性を、年を追うて益々認めて來た。現代の研究は、性格の基本的型が、生涯の初期の年齢につくられることを指示した。學校の後々の多くの努力も、これら幼年期における兒童の經驗の性質如何によつて、大きく支配せられる。

幼兒のために、如何なる生活が計畫せられなければならぬかに就て、大きな關心が發達し來つた。就學前の幼兒に對する事業は、多くの研究と實驗とを必要とせられてゐる。勿論、固定的法則や取扱方は、どの年齢の兒童に對してもきめられるものではない。わけても、幼兒等に對してそうである。しかしながら、幼兒教育のための興味ある關係事項が兒童發達の最近の研究から多く現はれた。すべての教師は、その幼兒保育事業のために、これらの研究の結果を熟知していなければならぬ。

○就學前幼兒のために望ましい日々

幼兒のために望ましい日々をつくるための主要な内容は次の諸點である。

- 一、豊かな日光と新鮮な空氣との戶外あそび
- 二、廣い部屋の室内あそび
- 三、戶外室内ともに、興味を促す諸材料を用いる機會
- 四、靜かなあそびと共に活潑なあそび
- 五、休息

六、食物

七、觀察的、鑑賞的、創造的諸經驗

八、同年齡の兒童との交り

九、おとなの理解ある指導

十、おとなの餘計な指圖を蒙らない長い自由時間

あそび仲間というものは、自他わかちあいの機會と、人と調和して働くこと、あそぶことを學ぶ機會を就學前幼兒に與える。幼兒たちには力いづばいあそぶための玩具が必要である。又組立構成のための材料と、箱や厚紙のような用具が必要である。積木は幼兒が使う最もよい用具として役立つ。大きい積木は戸外で、小さい積木は室内で、共に組立用に用いられる。そうして、積木で農場や、家や、町をつくる活動が刺激され促されるために、小さい玩具の動物や貨車や自動車や飛行機が必要である。

幼兒たちは、そのあそびによつて、自分の周囲の生活を取入れ、こうして自分と社會とを結びつける。お人形の家のあそびをし、電車やバスをあそびをし、お店あそびをする。それらのあそびによつて、やがて入るべきおとなの世界の生活を理解するようになるのである。

觀察と質問とは、幼兒の學習の途である。學校はその兩方のよき機會を、幼兒に提供しなければならぬ。愛好の小動物を飼育すること、花園の土を掘ること、繪をかくこ

と、粘土でものをつくること、小石をしらべること、虫類を觀察すること等は日常の興味と經驗に結びついで活動である。先生は幼兒たちが自分の質問に答え得るように助けることを常に用意してはならない。勿論先生は、幼兒が問ひ能うあらゆる質問の答を知ることが恐らく出来ないだろうが、子どもの理解に適切であつて充分満足と與え得るような答えをいつでもさがし出せる出所を知つていなければならぬ。

美術的活動は幼兒たちが最もよろこぶことである。とりわけ、鉛筆畫やクレヨン畫、粘土細工、畫架の上で大判の紙へ大刷毛で描く描畫をよろこぶ。幼兒の場合、創作の過程の方がその出来ばえよりも重要である。どの活動も巧者にされるであろうが、美術的表現の發達における段階としてこそ重要なのである。

おはなしと繪本とは、幼兒たちの經驗を淨化させ、又その見聞、實行とに意味を加えてゆく。おとぎばなしや民俗傳説の類に偏してはならぬ。おとぎばなしを話す時には、先生は、それが事實でないのを子どもたちが氣がつくことに注意周到でなければならぬ。

子どもたちは、いつでも音楽を聴きたがつてゐるし、音楽に反應しようとしてゐる。そして、學校（譯者——幼稚

園の意)に在る間、殆んどすべての時に唱つたり躍つたりする。子どものあそびとしての自發的な唱歌は、子どもの安全感と心のたのしさとの、最もよい證據である。しかも先生は、子どもに音楽をよく聴くこと、リズムを聞き分け又それに反應することを、學ばせ得るのである。先生は子どもたちと共に唱わなくてはならぬ。子どもたちは、人形をねかせながら唱うであらうし、食卓をならべながらも唱うであらう。それらの唱歌は、子どもたちが教えられたものであり、また時として、自分で作つたものもある。これらの珍重すべき小創作こそは、先生がグループ全體の子どもたちと願ちあうことの出来る眞の寶ものといつていい。グループは、みんながそれを覺えて唱うような、人のつくつた小さいうたを、それはく喜びたのしむであらう。こうした経験は、實に幼い創作家のために發達を助ける効果の多いことである。

○幼兒たちのために望ましい諸經驗

多くの研究によつて、幼兒たちのために如何なる經驗が望ましいかの方向が決定せられて來た。それらの研究からの幾多の結論は、次の如き諸種の點が重要であることを示すものである。

- (一) 經驗は事實性でなければならぬ。
いつでも能う限り、子どもたちは直接、かの經驗をもた

せられたい。描畫、粘土製作、園藝、小動物の飼育、料理、園外觀察、いろくのほんとうの會話、いろくのほんとうの見學、これが皆、直接、かの經驗といふものである。

(二) 經驗は觀察的のものでなければならぬ。

幼兒のための學校は、幼兒にその身邊の社會を理解させることに、常に助けとなるものでなければならぬ。たとえば、電車の運転手、郵便配達夫、店の人、漁夫、農夫、警察官などの仕事を知ること。

(三) 經驗は好ましきリズム性でなければならぬ。

毎日のプログラムが、休息、あそび、仕事、それも、美術、組立材料、音楽、おはなしなどの適宜用いられている活動によつてよく按配されていなければならぬ。

(四) 經驗は子どもたちの、それくの年齢のはたらき力、うけ入れ力を考慮して計畫されなければならぬ。

組の中の子どもたちが、揃つて同じ活動をする必要はない。仕事もあそびも、子どもたちの興味、目的、態度の廣い範圍に應じさせなければならぬ。われくが個々一人々々の子どもについて考慮する時には、同一年齡の子どもの間に著しい差違のあることがはつきりする。

- 子どもたちの價值ある學習のもと、
なる諸經驗

(一) いろ／＼の店や公共の場所へ見に行くこと。その外出は近いところで行なければならぬし、途中危険のないように、こまかな用心が必要である。

(二) リズム。音楽にあはせた躍りや競技。音楽のまゝに走り、歩き、スキップし、足を高く上げて飛ぶ等の動作。

(三) 休息。休息も亦一つの望ましい経験である。子どもたちは、疲れたことを告げさせぬが、注意深い先生は子どもたちの疲労の様子に気がつく筈である。

(四) 自由あそび。それには種々のよき玩具類と、梓登り、大積木、箱類、板紙類、砂場等の備品設備がいる。子どもたちには自分で自發し自分でできめてことをするようにさせるがよい。指導と見まもりとは必要であるが、おとなの指圖は極く少しだけにする。

(五) 音楽。短い聴取、唱歌、ピアノ又は蓄音器へ太鼓類の簡単な合奏によるリズム樂隊。

(六) おはなし。幼稚園の先生は皆、子どもに話すよいおはなしを澤山もつていなくてはならない。楽しいおはなしによる子ども喜びほど、與え甲斐のあるものはない。

(七) 描畫。大判の紙へ大刷毛で描くことは、子どもたちの筋肉調整を進め、又、自己發表のいゝ手段である。先生は、子どもたちに何を描くべきかを示してはならない。どの子どもも表現すべき自分の觀念を澤山もつてゐる。

(八) クレオン作業。先生は子どもに塗らせる模型を與

えてはならない。これは獨創性を殺すのである。子どもたちには材料を與えて、自分の觀念を描かせればよい。

(九) 粘土作業。粘土は、形をつくる用材として最も價値のあるものゝ一つである。

(十) 興味ある品々。子ども達の周邊にある興味ある品々から、すぐれた話あいが生れる。海岸から拾つて來た貝殻、古い鳥の巢、大きな松ぼっくり、美しい秋の木の実等の外にも、子どもたちに有益なものがいくらでもある。そういうものを少しづつの寶ものように持つて來させるがよい。可愛らしい博物館が作り出されるだろう。

(十一) 興味ある人々。警察官、郵便配達夫、特殊な腕まえや得意の藝をもつ人々、ヴァイオリンや手風琴を奏する人、それからまた、蝶の標本を集めている子どもなども、幼稚園へ來てその興味を子どもたちと願つて貰いたい人々である。

(十二) 科學的經驗。子どもたちのための最も豊かな分野の一つは、科學の分野である、子どもたちにはその周圍のいろ／＼のものが珍しい。更に特に科學的興味の多いものゝ幾つかを挙げれば、水族館、小魚、おたまじやくし、磁石、地面や植木鉢のいろ／＼の種子の芽、もえ出る草、昆虫類、繭、かなりや、小動物類。これらのものゝ價値は、先生の想像力次第によつて無限である。